

## シダモク

*Sargassum filicinum* Harvey

ヒバマタ目 ホンダワラ科

石川県カテゴリー 準絶滅危惧

国カテゴリー なし

## 選定理由

海藻関係者の間では古くから本種の生育が注目されていたが、舟橋（1967）が採集し、北海道大学理学部に保管されている標本が県内では唯一のものである。分布の北限に位置し、本来、数少ない海藻と考えられる。

## 形態

アカモクに似るが、気胞が球形から楕円形ないし紡錘形で、円柱状のアカモクと区別する。また、雌雄同株である。

## 国内分布

太平洋岸関東以西、日本海岸能登半島から九州西岸、瀬戸内海。

## 県内分布

能登町立壁。

## 生態

1年生で春から夏に成熟する。

## 生育地の条件

漸深帯。

## 生存の危機

県内での生態が不明で言及できない。

## 特記事項

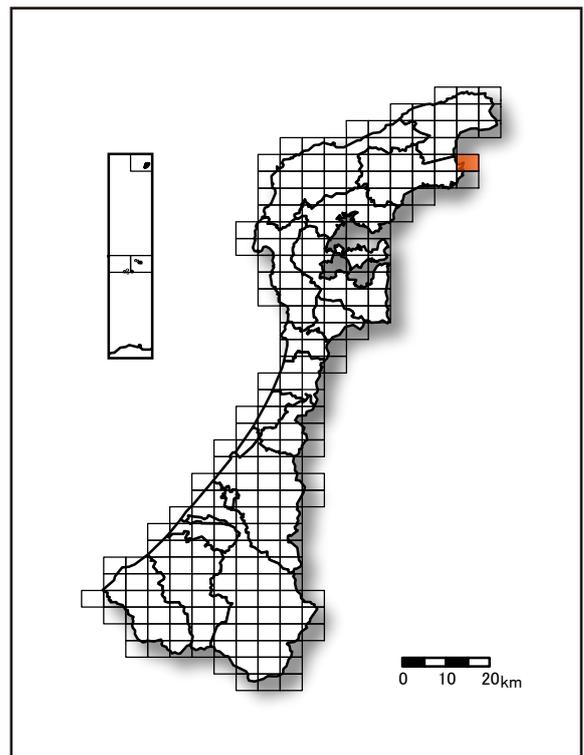
流れ藻や打上げ藻の中には出現している。

## 参考文献

舟橋説往. 1967. 能登臨海実験所付近の海藻. 金沢大学能登臨海実験所年報, 7: 15-36.



写真提供者: 新井章吾



県内の分布